

これからの女川を担う若者たちが 新しい女川町のまちづくりを提案！

女川町をよくしたいという思いから、町内外の高校生が立ち上がり、女川向学館(旧女川第一小学校)で合宿しながら新たな町の課題解決に取り組みました。

まちカフェ×女川向学館×かぎかつこPROJECT

3月7日～8日・参加者21名

(高校生・大学生14名、協力団体スタッフ7名)

まちびらき直前合同合宿 ～新生・女川ノ課題ヲ解決セヨ～ featuring マイプロジェクト × KAERU CAMP

◆場 所 女川向学館(旧女川第一小学校)

【これまでの経緯】

平成26年11月にKAERU CAMPが開催され、町外の高校生が、女川町の仮設住宅の問題やプロムナードでの取り組みについて提案しました。今年2月には、地元の高校生による女川向学館マイプロジェクトチームが、「新しい駅前を使って子どもの課題を解決せよ！」をテーマに、自分たちの主体的な取り組みを提案しました。



今回は町内外の高校生の提案を融合し、具体化するための合同合宿です。

【地元高校生によるまち案内】

地元の高校生が、仮設住宅(総合体育館)⇒いのちの石碑(女川中学校)⇒地域医療センターを案内し、町外の高校生や大学生に復興状況や被災後の取り組みについて説明しました。



【提案の融合】

町内外の高校生がこれまでに検討した結果を発表し、共通する3つのテーマに分かれて、それぞれの提案を融合しました。



平成27年度の実施に向けて頑張るので、女川町のみなさんも応援してください！

【提案の具体化】

いつ、どこで、どのようにやるのか、資金調達も含めた実施計画を立てました。7日は夜遅くまで話し合い、8日早朝に提案をまとめました。

《3つのテーマと高校生の提案》

子どもの居場所づくり

KAERU CAMPで提案した“こどもなHOUSE”の実現に向け、その第1弾としてマイプロチームが提案した“駄菓子屋”を実施します。



駅前のにぎわい創出(ロックフェス)

女川町でロックフェスをやりたいです。併せて、高校生プロデュースの文化祭を11月に実施します。



海産物の売り上げUP(ホヤ)

ホヤが旬の夏に向けて、新商品開発やレシピカードの作成に取り組みます。女川駅やあがいんステーションで売りたいです。



女川の魅力を発信 復幸祭で実践しよう！

町の魅力を発信しよう「女川町のプロモーション実践ワークショップ」

3月13日・参加者4名

第3回 まち活ブースで集客アップを考えよう！

1月14日に第1回、1月21日に第2回を開催した結果、復幸祭のブースで行う企画を共有し、復幸祭で町の魅力をどのようにPRすればよいのか、意見交換を行いました。

「“女川ひと辞典”ではQRコードを印刷して配布してもいいのではないか」、「“出店者うわさプロジェクト”では各ブースの裏エピソードを簡潔に伝えることが重要である」といった意見が出ました。



女川町には“こんな人”がいる！という発信ができたらしいな！

《今後の情報発信の提案》

- ・今後も「女川ひと辞典」を充実させるために、“推薦者募集中”と連絡先を記載したらいいのではないかな。
- ・女川の“人間国宝”のような取り組みに発展できたらいいな。 など

▶ご協力いただいたみなさん、お世話になったまちの先生

- 講演会・実践講座・特別講座にご協力いただいたみなさん：伊藤香織氏(東京理科大学)、林田暢明氏(TAO代表)、小泉進次郎氏(復興大臣政務官)、増田寛也氏(日本創成会議座長)、吉村伸一氏(吉村伸一流域計画室)、岡崎正信氏(オガールプラザ株式会社代表取締役)、古山隆幸氏(一般社団法人イトナブ石巻)、若新雄純氏(慶應義塾大学)
- 視察にご協力いただいたみなさん：大南信也氏(NPO法人グリーンバレー)、小林郁雄氏(南芦屋浜災害復興公営住宅コミュニティ・アート実行委員会)
- ワークショップにご協力いただいたみなさん：子育て応援サークルマザーズリング、絆FRIENDS、女川小学校、女川向学館(NPOカタリバ)、水環境ネット東北、女川ネイチャーガイド協会、きずなシステム、「」かぎかつこPROJECT(スマイルスタイル、Co.to.hana)、ココロプレス、女川町社会福祉協議会、復幸祭実行委員会
- まち活に来てくれた大学生のみなさん：中央大学法学部政治学科、東京国際大学、失われた街模型復元プロジェクト(名古屋市立大学、愛知淑徳大学、神戸大学)、中央大学ボランティアセンター「チーム女川」、関西学生団体Action For Ishinomaki
- まちの先生のみなさん：八木純子氏(コミュニティスペースうみねこ)、小松洋介氏(アスヘノキボウ)、梶原千恵氏(中学校美術教諭)、木村優佑氏(ガル屋)、高橋正祥氏(宮城ダイビングサービスハイブリッジ/石巻海さくら)、鈴木麻弓氏(写真家)、藤中郁生氏(桜守りの会)、崎村周平氏(スプレーアーティスト“D-BONS”)、島貫洋子氏(読み聞かせボランティア お話し会「おひさま」)、阿部鳴美氏(みなとまちセラミカ工房)、ジョナサン・ストレイカー氏(仲間だっちゃ)

その他、まち活にご参加、ご協力いただいたみなさん

平成27年度の「まち活」にもご期待ください！

まち活メールにご登録を！

まちづくりの「学び」と「実践」につながる企画を随時開催しています。メール登録していただいた方に、リアルタイムで情報配信します。メールの件名に「まち活メール登録」、本文に「氏名、年齢、性別、職業(所属先)」をご入力の上、fukko7@town.onagawa.miyagi.jp までご送信ください。

◆ 問合せ先 女川町まちづくり推進協議会/ワーキンググループ事務局

役場復興推進課復興調整係 ☎54-3131内線239

◆ まち活Facebook <https://www.facebook.com/machikatsuonagawa>